

JGAPの今とこれから

＜日本のGAPはどうあるべきか？＞

日本GAP協会 理事会

❁ 日本の消費者は「人口減＋高齢化」

- ❁ 今後10年間で、64歳以下が700万人減り、65歳以上が700万人増える
- ❁ 日本農業の最大顧客である日本市場は激変する
- ❁ 作れば売れる時代ではない

❁ 農産物が国境を越えて行き交う時代

- ❁ グローバルな視点で日本農業の“ウリ”は何か？
- ❁ 日本産農産物というブランドは、国内外の買い手に何を約束しているのか？
- ❁ GAPの視点から、日本の農業者は公正な国際競争の土台に立てているか？

	JGAP	GLOBALGAP (日本)	GLOBALGAP (ドイツ・オランダ)
審査費用			
個別認証 (農業生産法人、個人農家)	年間 4-6万円／農場	年間 20-35万円／農場 (日本GAP協会調べ)	年間 1-3万円／農場 (2011年 欧州GAP調査より)
団体認証 (JA生産部会など)	年間 0.8-1.5万円／農場	年間 10-20万円／農場 (日本GAP協会調べ)	年間 0.1-1万円／農場 (2011年 欧州GAP調査より)

審査員の交通費除く

- ❖ 食の安全確保のため、小売・メーカーによる仕入先管理の高まり
 - ❖ 農場管理の良し悪し(=GAP)が農産物販売(特にB to B)に影響する時代
 - ❖ 良い農場管理をいかに効率的に実現するか、またそれを低コストに確認するかが問われている。
- ❖ 日本のGAPは、日本農業の競争力に貢献できるか？
 - ❖ 米国FDA食品安全強化法のGAPの登場。米国内で流通する食品(農産物)に工程管理を義務付け。
 - ❖ 官・民のGAP まだバラバラ・混沌状態が続く。GAP 栄えて農業滅びる、あってはならないこと

- ❖ 2002-2007年 流通・JA・行政、多様なGAPが日本国内で作られていく
- ❖ 2006年11月 日本GAP協会 設立
 - 設立の目的①：日本の業界標準のGAPを構築すること
 - 設立の目的②：世界に通用する日本の本格的なGAPを創り、普及すること
- ❖ 2007年8月 JGAP（青果物2.1版）がGLOBALGAP ver. 2と同等性認証
- ❖ 2007年11月 JGAPの第三者認証制度がスタート
- ❖ 2010年4月 農水省「GAPの共通基盤に関するガイドライン」が発表
- ❖ 2010年6月 JGAP青果物2010を発表。上記ガイドラインに対応。
- ❖ 2010年7月 JGAP認証の消費者向け表示を開始
- ❖ 2011年8月 JGAP基準に放射能対策が追加される
- ❖ 2012年3月 JGAP茶2012を発表
- ❖ 2012年9月 JGAP穀物2012を発表
- ❖ 2013年5月 「JGAPと他のGAPとの同等性認証」の制度がスタート

JGAPの基準書

日本GAP協会が発行している以下の基準書をダウンロードできます。 [>>印刷された冊子版\(有料\)購入希望はこちら](#)

農場用 管理点と適合基準

JGAPの基準に、放射能への対応が追加されました。(青果物 2010、穀物 第2.1版、日本緑茶 第1版)

これにより、JGAP認証農場は「放射能についても安全管理が行われている農場」となります。
これまで通り、残留農薬・食中毒・異物混入についても管理されています。

基準書	基準書ファイル	審査・認証期間	補足情報
青果物 2010		(2010年7月1日より審査・認証開始)	>>補足情報
青果物 2010(英語) JGAP2010 Fruits and Vegetables		(2013年7月20日発表 審査・認証に利用可)	
穀物 2012		(2012年9月1日より審査・認証開始)	>>補足情報
穀物 第2.1版		(2013年8月31日まで審査・認証継続)	
茶 2012		(2012年3月1日より審査・認証開始)	>>補足情報
日本緑茶 第1版		(2013年2月28日まで審査・認証継続)	

団体事務局用 管理点と適合基準

基準書	基準書ファイル	審査・認証期間	補足情報
団体 2012		(2012年6月1日より審査・認証開始)	>>補足情報
団体 第2.2版		(2013年5月31日まで審査・認証継続)	

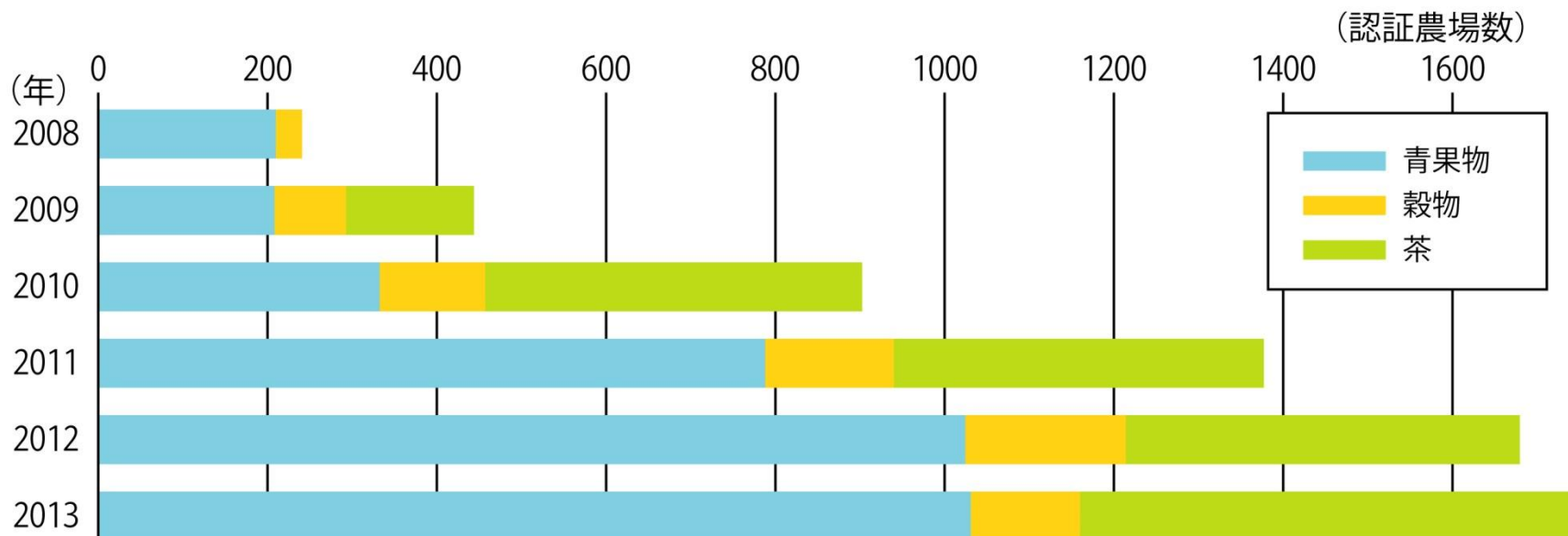
総合規則

基準書	基準書ファイル	審査・認証期間	補足情報
総合規則 2013		(2013年5月1日より審査・認証開始)	>>補足情報
総合規則 2011		(2013年4月30日まで審査・認証継続)	>>補足情報

JGAPはすべての基準書がオープンであり、無料で提供されています。

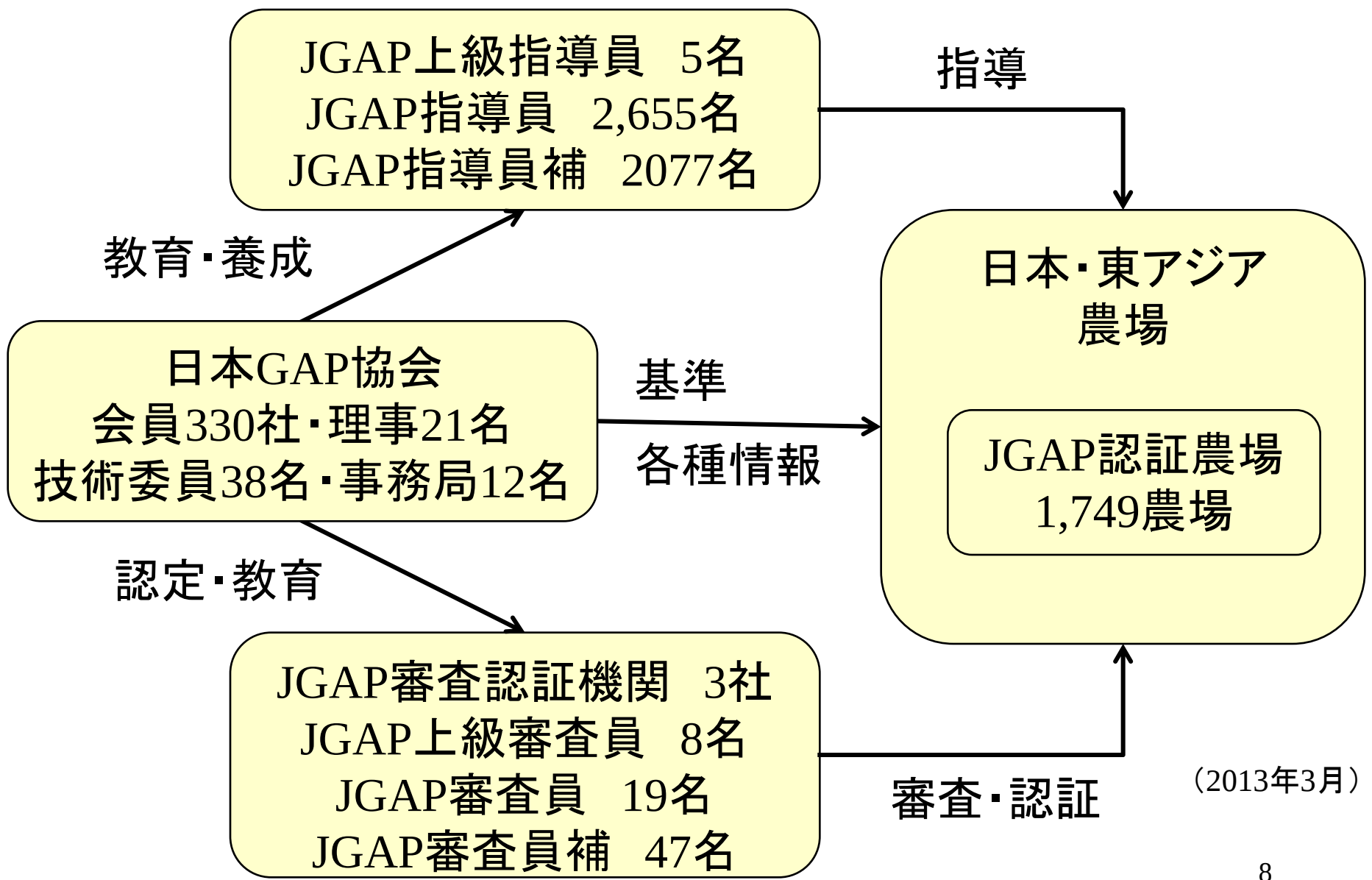
日本国内では、認証制度を前提としたGAPとしてはJGAPが圧倒的ナンバーワンのラインナップです。

海外と比較しても、本格的なGAP認証制度として必要なものは全てそろっています。



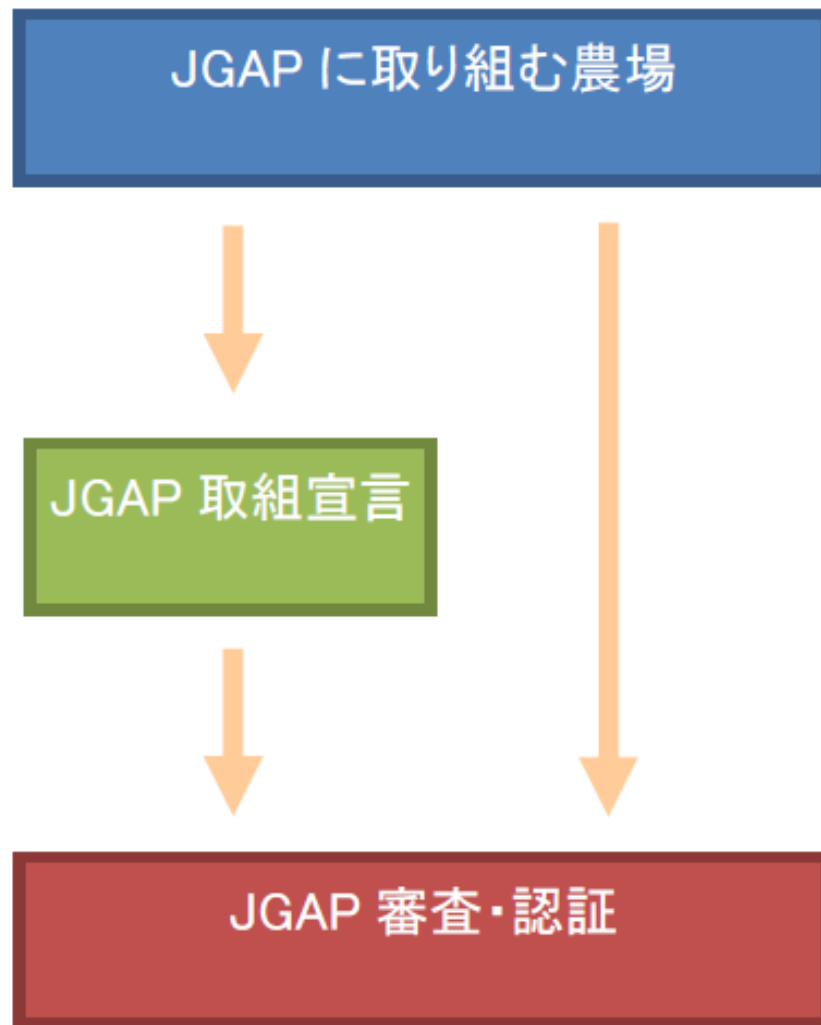
生産現場からも取り組み意欲が高い！

農業法人白書「取得したい認証」として3年連続で1位
(日本農業法人協会 2010/2011/2012年度のアンケート調査より)



	2008年	2013年
農業生産者	8%	15%
都道府県の普及指導員等	3%	18%
農協の職員	8%	18%
農産物流通・小売・ 食品メーカー等	10%	10%
農薬・肥料・農業資材・ 資材メーカー等	59%	26%
その他	12%	13%
合計人数	836名	4,737名

JGAP 取り組み開始から審査・認証までの流れ



JGAP認証に向けた
第一歩を踏み出し
やすく！

JGAP 認証にはまだ
至っていないが
JGAPの基準書を参考
に農場管理の改善に
取り組み始めた
農場・団体を
識別・評価・応援する
制度です。(無料)

JGAP

Japan Good Agricultural Practice

Control Points and Fruits and Vegetables 2010

Issue date: 26th May 2010

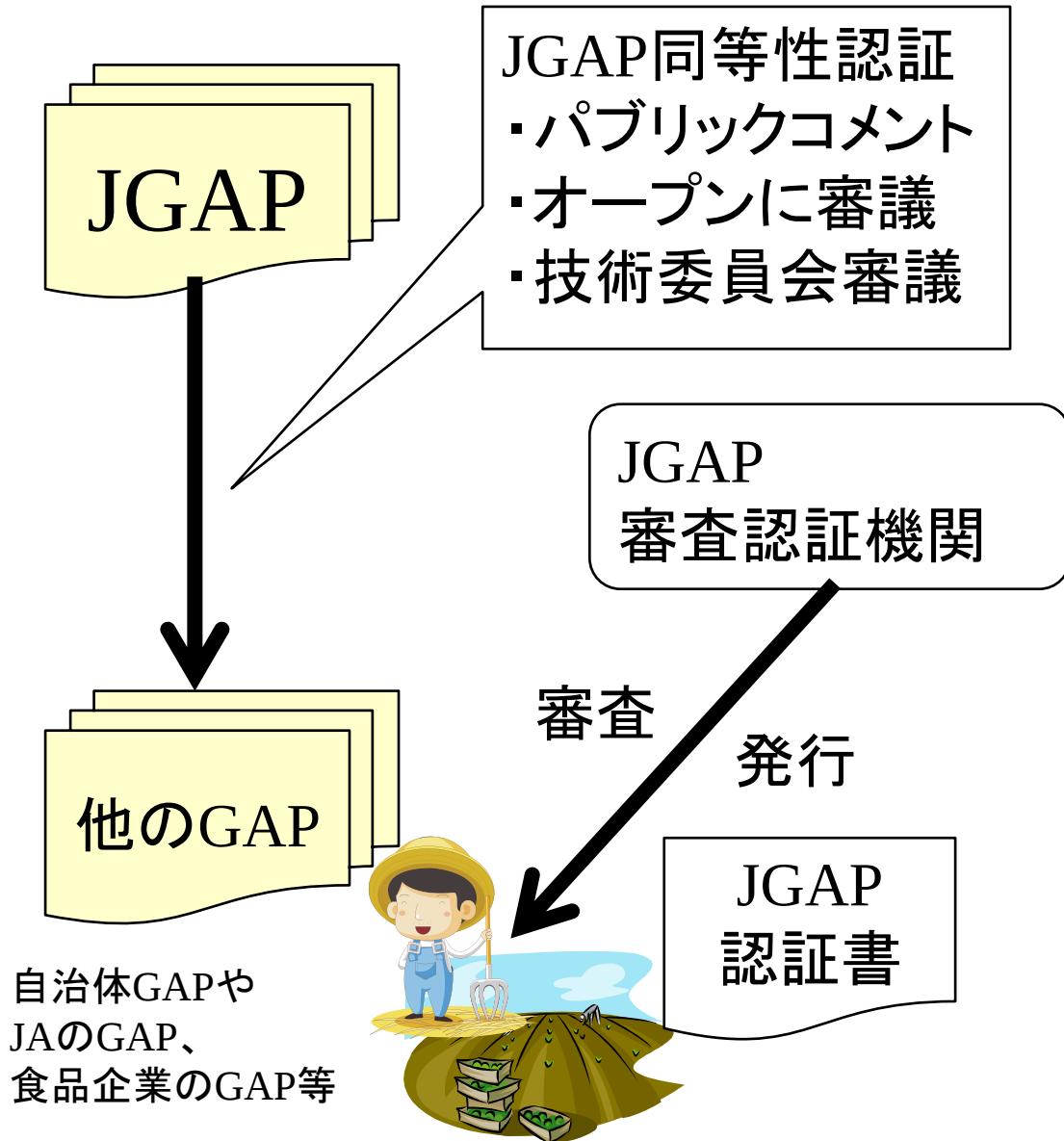
Certification starts: 1st July 2010

JGAP青果物2010 英語版の公表

日本産農産物の
輸出先に、日本の
農業現場の管理の
良さを伝える。

JGAP認証農場の
海外進出を応援。

茶・穀物も英訳予定。



他のGAPが、JGAPと同等であるかどうか確認する制度です。

JGAP以外のGAPを実践する農場でもJGAP認証書を得ることができます。

農業者・流通業者の利便性を高めます。

JGAPは、全ての取引基準のゲートウェイ(入口)に！



JGAPは
日本の
農業現場に
必要十分な
標準として

GAPに取り組む農場

JGAP取組宣言

JGAP同等性認証の他のGAP

JGAP認証農場

+ 少し不足！

GLOBALGAP
Inspection Guideline
for JGAP producers

近日公開！

GLOBALGAP認証農場

GLOBALGAP認証を
要求する流通

そのまま
OK！

国内外の
流通

+ 少し不足！

対比表
追加項目

独自の
要求事項が
ある流通

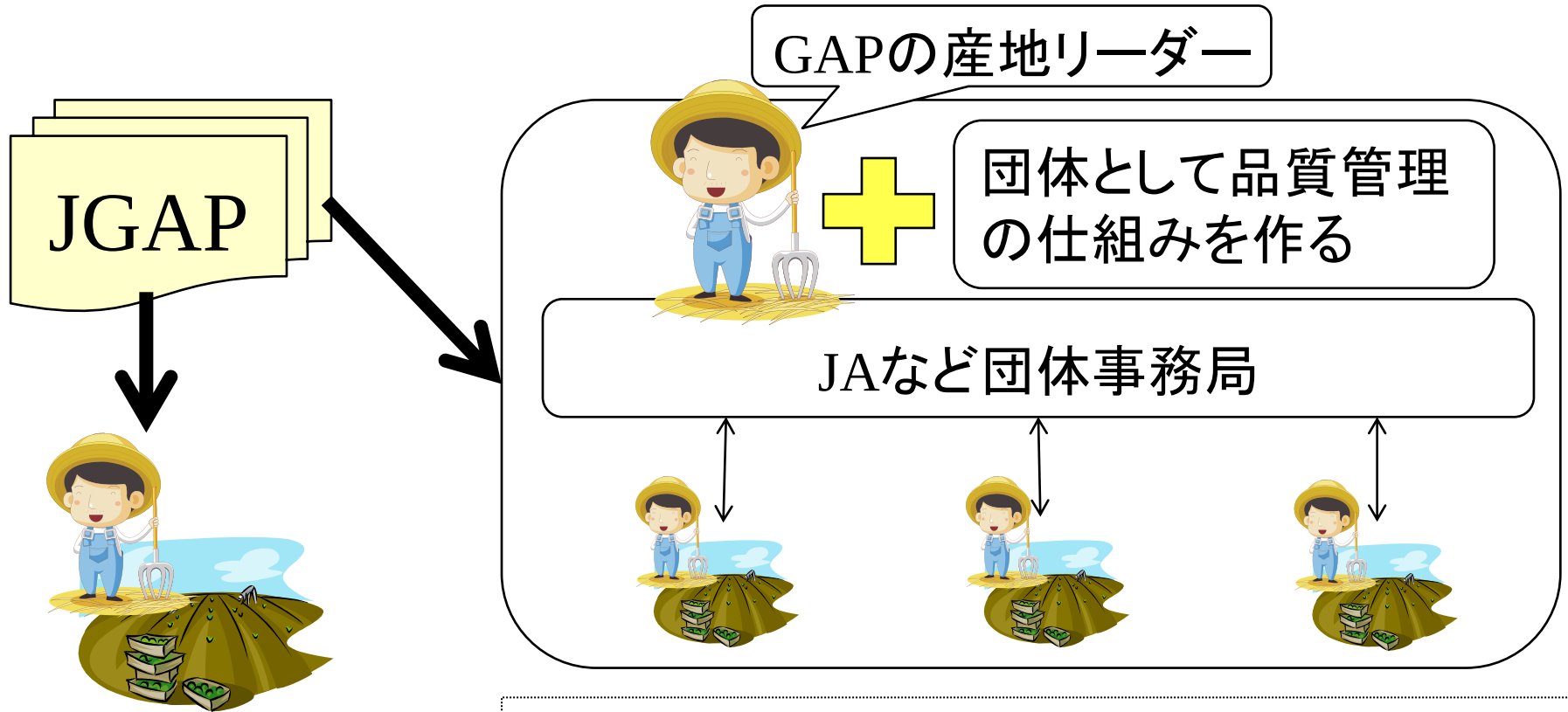
+ 少し不足！

FDA対応
サポート文書

作成予定

米国FDA
食品安全強化法
GAP 対応農場

米国内の流通企業



<個別導入・個別認証>
一つの農業経営体の品質管理体制がJGAPに適合しているかを審査する。

<団体導入・団体認証(JGAP全体の8割！)>
JA生産部会などの団体で、農場管理の仕事を事務局と団体事務局が分担して“効率的”に実施。

「GAPの産地リーダー(団体の品質管理の要)」を中心に団体の品質管理体制を整え、団体としてJGAPに適合しているかを審査する。

日本GAP協会 7の会員部会

輸出部会

消費者・普及部会

IT・標準帳票部会

分析・放射能部会

外食・加工食品部会

農薬・肥料・資材部会

農業経営・金融部会



EUには、耕種から酪農まで農業者に対する直接支払制度がありますが、その条件（クロスコンプライアンス）としてGAPが定められています。GAPの内容は、環境保全型農業や農業の多面的機能を評価するものとなっています。



平成25年度に農林水産省が、農業の多面的機能を評価した「日本型直接支払い」及び新たな経営所得安定制度を中心とする「担い手総合支援」の制度設計に向けた調査を行います。



その調査の一部である「環境と調和のとれた農業生産活動の把握・分析調査」について公募が行われ、受託者の野村総合研究所に協力し、現場調査を担当することになりました。



全国600以上のJGAP認証農場・特別栽培農場・有機JAS認定農場・エコファーマー・MPS農場（花卉）その他の環境保全型農場を調査し、具体的な環境保全の取り組み・工夫の事例を集め、またコストなどの分析も行います。

日本のGAPは どうあるべきか、、、 今日はみんなで考えよう！

